

児童生徒の防災教育

防災教育支援事業 教職員等研修会

平成21年8月11日(火)

教育庁学校安全・体育課
増野 淳一

1



7/21
防府市大規模土砂災害



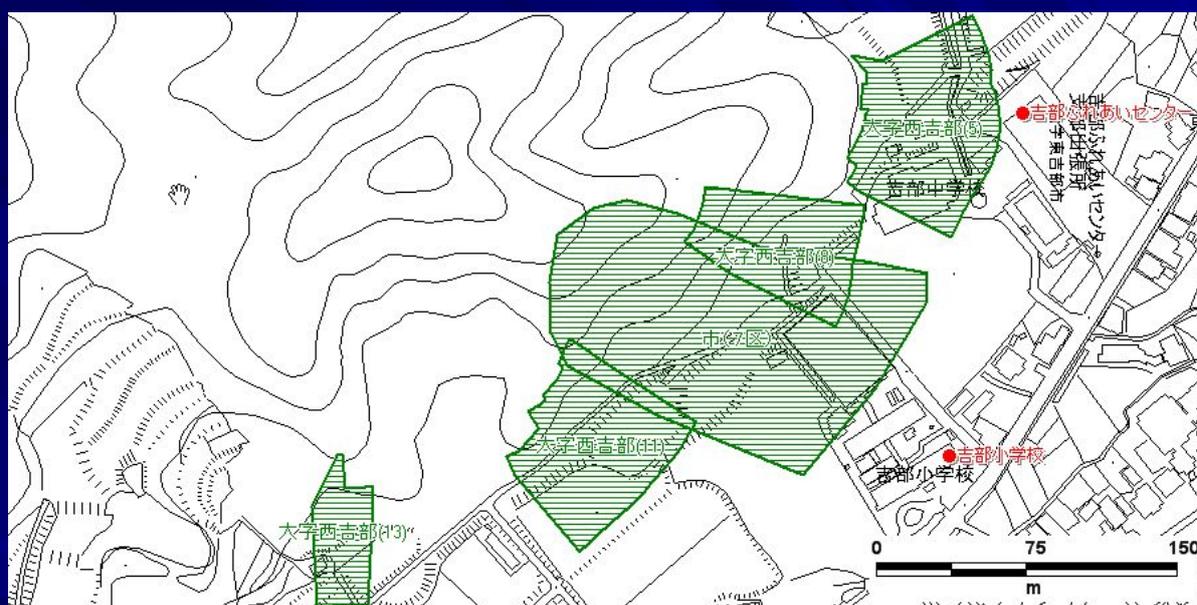
2

吉部小・中も人ごとではない



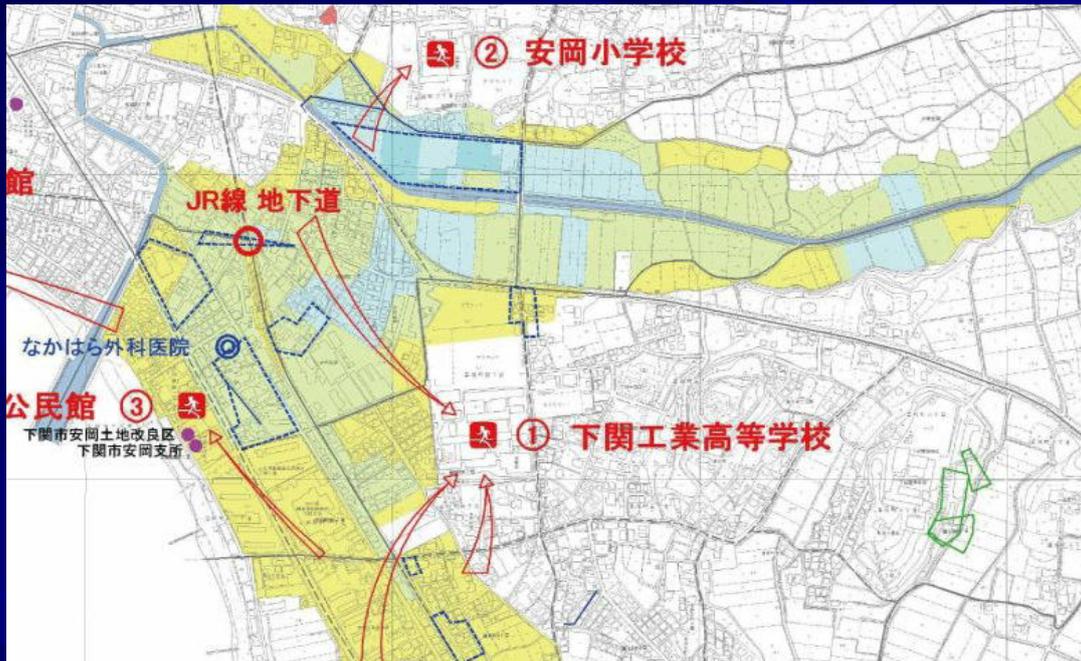
3

裏山が崖崩れ危険箇所になっている



4

下関工業高校も人ごとではない



山口県の小学校132校(土砂)・74校(浸水)
高等学校37校(土砂)・9校(浸水)が危険地帯に含まれている。

5

もし、夏休み中に入る前だったら

- 1 明け方からのひどい集中豪雨
→ 大雨の場合の登校の判断は？
- 2 降り続く豪雨・募る不安「避難が必要なのは？」
→ 避難の判断基準は？ 気象情報の把握の仕方は？
- 3 避難はどうする？
→ 集団下校させる？ 保護者への連絡は？
- 4 保護者への引継ぎは？
→ 連絡が取れない子どもは？
- 5 住民であふれる避難所
→ 授業の再開は？
- 6 被災した子どもへの対応は？ 家は？ 生活は？ 学習は？

6

災害発生の危険性が高まっている

風水害 土砂災害 地震 竜巻...

大地震発生の可能性

異常気象

(ゲリラ豪雨・記録的短時間集中豪雨...)



山口県での学校防災の取り組みの遅れ

山口県は決して自然災害の少ない地域ではない



防災教育の必要性

7

I 防災教育の必要性

1 国の動向

(1) 中央防災会議(H13.1~)

①「災害被害を軽減する国民運動の推進に関する基本方針」

○ 防災教育の充実

・ 防災に関する教育の充実

郷土の自然災害の歴史等を学ぶ機会の確保

・ 中高生が地域の防災活動の担い手となる事例の周知・促進

② 平成21年度防災対策の重点

・ 防災教育の推進

8

(2)防災教育支援に関する懇談会(H19.4~)

とりまとめ –「生きる力」を育む防災教育を支援する–

資料1

○ 防災教育の現状

- ・ 防災教育は避難訓練等を始めとする災害発生時の対応に関する指導が中心
- ・ 自ら防災について学ぶ意欲を高め、幅広い知識や防災対応能力等を身につけさせようとする取組は十分ではない
- ・ 防災教育の取組は地域等によって大きな差異がある

防災教育支援モデル地域事業

防災教育支援地域フォーラム

9

(3)中央教育審議会

幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について
(答申)

5 学習指導要領改訂の基本的な考え方

(7) 社会への対応の観点から教科等を横断して改善すべき事項

(安全教育)

「学校については、身の回りの生活の安全、交通安全、災害に対する総合的な安全教育の充実が課題」

「安全教育については、…自他の危険予測・危険回避の能力を身に付けることができるようにする観点から…教育活動全体で取り組むことが重要」

10

(3) 中央教育審議会

幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について
(答申)

小学校社会

我が国の国土や地域に関する内容について、環境保全、**防災**及び伝統や文化、景観、産物などの地域資源の保護・活用などの観点を重視して再構成する。

小学校理科

(ウ)「生命・地球」については、児童が生物の生活や成長、体の作り及び地表、大気圏、天体に関する諸現象について観察やモデルなどを通して探究したり、**自然災害**などの視点と関連付けて探究したりすることについての指導に重点を置いて内容を構成する。

文科省:「災害から命を守るために」防災教育CD教材

11

(3) 中央教育審議会

幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について
(答申)

中学校理科

b 第2分野については、「生命」「地球」などの科学の基本的な見方や概念を柱として、内容を構成し、科学に関する基本的概念の一層の定着を図る。さらに、生命、環境、**自然災害**など総合的なものの見方を育てる学習になるよう内容を構成する。

その際、例えば、生物の多様性と進化、遺伝の規則性、DNAの存在、日本の天気、月の動きと見え方、地球の変動と**災害**などを指導する。

12

(3) 中央教育審議会

幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について
(答申)

高等学校社会科

「地理A」については、**防災**などの生活圏の地理的課題に関する地図の読図・作図及び地域調査などの作業的、体験的な学習を充実し、実生活と結び付いた地理的技能を身に付けさせるとともに、環境、資源・エネルギー問題などの現代世界の諸課題や持続可能な開発の在り方などについて地域性や歴史的背景を踏まえて考察させ、地理的な見方や考え方を培うことを一層重視する。

13

学習指導要領の改訂

資料 2

- 学校における「安全に関する指導」が総則に新たに規定され、学校安全の取組が求められる



趣旨を踏まえた安全教育の充実
日々の授業での取組

14

2 県の動向

(1) 震災対策専門部会(H7~) 防災対策専門部会(H12~)

(2) 「住みよさ日本一の山口県」

災害に強く、事故や犯罪、食生活の不安が少ない、安全で安心な地域社会の実現

「震災時の被害軽減にかかる標準マニュアル(学校用概要版)」

「暮らしの安心安全強化対策特別委員会」

「山口県地震被害想定調査報告書」

「災害に強い基盤づくりの推進プロジェクト」

- ・ハード面：学校の耐震化の推進
- ・ソフト面：防災教育の推進

15

II 県教委における防災教育の取組

1 平成19年度

- 19年7月6日 「防犯・防災訓練の取組の充実について」通知
 - ・ 防災訓練の充実のお願い
- 19年10月 リーフレット「学校防災の充実に向けて」配付 資料3
 - ・ 教職員向け、防災教育の定義、事例、避難訓練モデル
- 19年10月 「震災時の被害軽減に係る標準マニュアル(学校版)」
 - ・ 震災時のマニュアル整備の参考資料 再配布
- 20年1月28日 「学校安全の取組の計画的な推進について」通知
 - ・ 学校安全計画単独の作成依頼、災害安全分野の計画

16

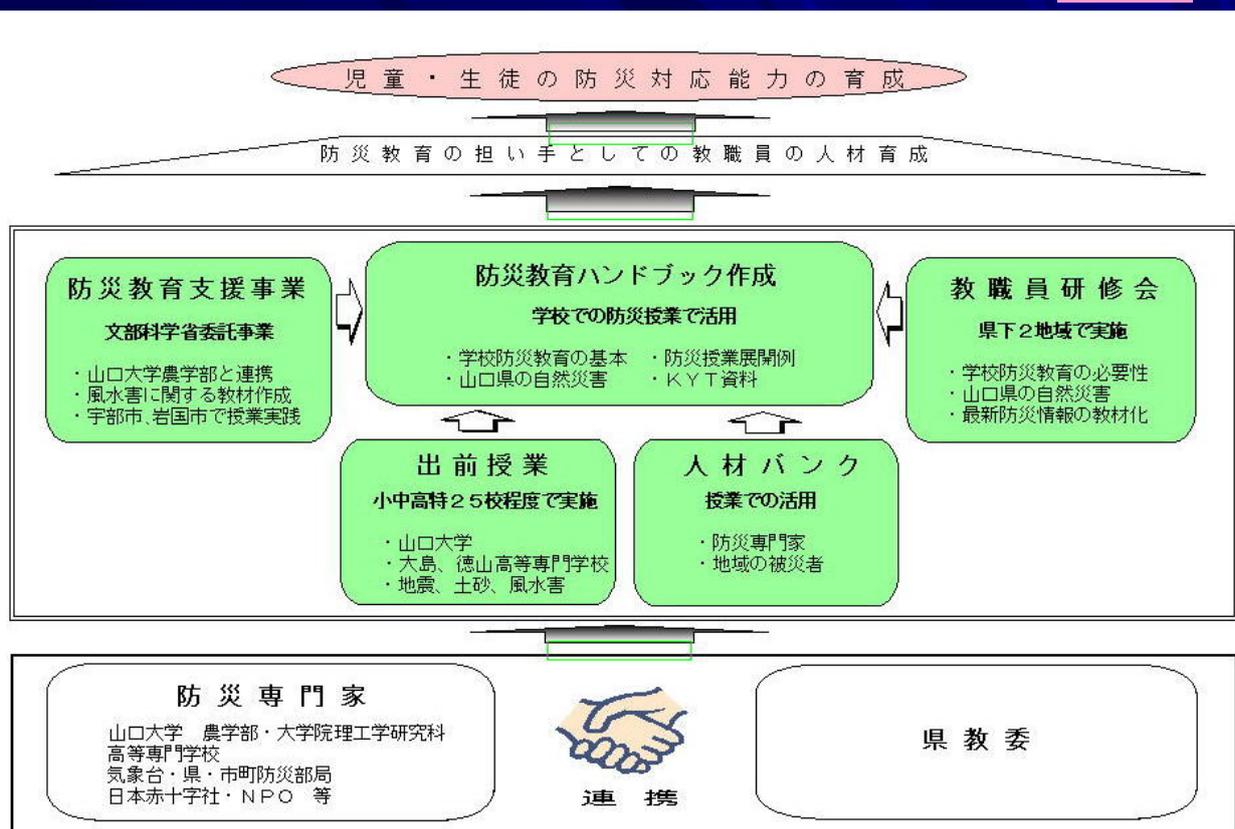
2 平成20年度

- 学校安全計画の作成
 - ・ 災害安全の取組の明確化
- 防災教育ハンドブック作成
 - ・ 2カ年計画
- 防災ボランティア授業の実施 資料 4
 - ・ 故 山本哲朗山口大学教授により、31校実施
- 専門家による教材開発等との連携
 - ・ 「防災教育支援地域事業」
→ 成果をハンドブックで活用

17

3 平成21年度

資料 5



18

防災教育出前授業

本年度31校(小中学校)
山口大学5名
徳山工業高等専門学校1名
大島商船高等専門学校3名



19

防災教育ハンドブック

資料 6

- I 山口県の自然災害
 - 1 自然災害の特性
 - 2 本県の災害の現状と特性
- II 防災教育の基本
 - 1 防災教育の必要性
 - 2 学校防災の基本的な考え方
 - 3 学校における防災教育の目的
 - 4 発達段階に応じた防災教育の目標
 - 5 学校における防災教育
- III 防災教育の展開例
 - 1 幼稚園
 - 2 小学校
 - 3 中学校
 - 4 高等学校
 - 5 特別支援学校
- IV 資料
 - 1 学校における防災学習(学習指導要領の抜粋)
 - 2 授業に活用できる防災情報
 - (1) 各知事部局 防災システム
 - (2) " 作成資料
 - (3) " 防災活動
 - (4) 国・他県、関係機関資料
発行資料、DVD等、Web頁リンク
 - 3 防災危険予測学習(KYT)資料

20

Ⅲ 学校における防災教育

1 学校防災の基本的な考え方

(1) 学校安全の3領域

生活安全

- 日常生活で起こる事件・事故への安全対策や防犯

交通安全

- 交通場面における様々な危険への安全対策

災害安全

- 自然災害(地震や風水害等)及び火災等への安全対策

21

(2) 学校防災の取組の3分野

資料7

防災教育

- 災害に関する知識理解・自らの安全確保のための判断力行動力育成・地域貢献への心の育成

防災管理

- 施設設備の安全確保、子どもの心身の把握・救急体制、連絡体制の整備、避難所の運営体制

組織活動

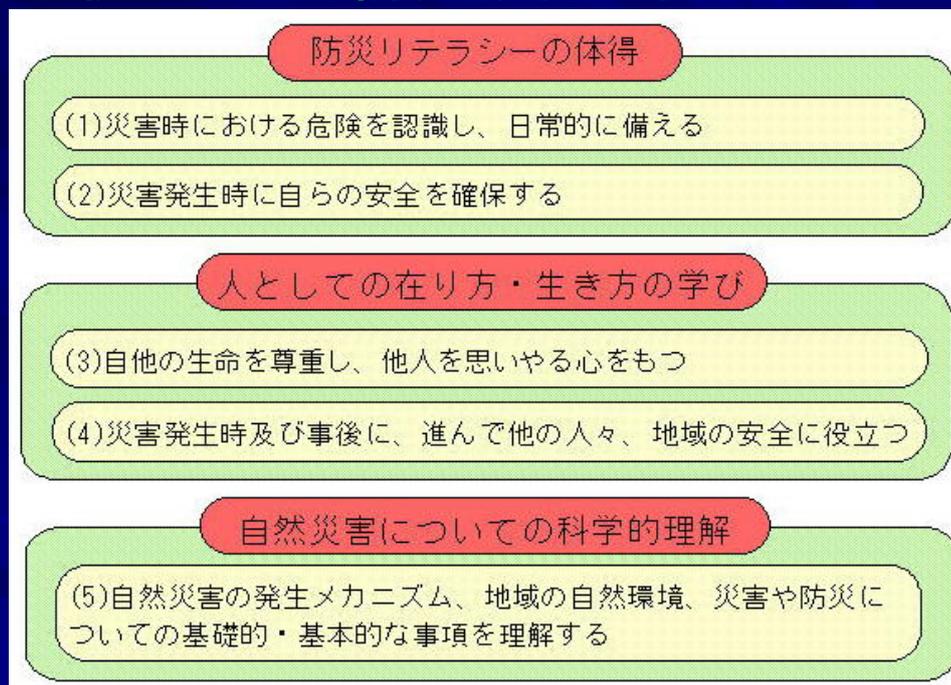
- 防災教育・管理の推進体制、教職員の資質向上・保護者・地域との連携体制の整備

22

2 児童生徒の防災教育

資料 8

(1) 学校における防災教育の目的



23

(2) 発達段階に応じた防災教育の目標

資料 9

小学校

- 1, 2年
 - 教員や保護者など近くの大人の指示に従うなど適切な行動ができる
- 3, 4年
 - 災害の時に起こる様々な危険について知り、自ら安全な行動ができる
- 5, 6年
 - 日常生活の様々な場面で発生する災害の危険を理解し、安全な行動ができる
 - 自分の安全だけでなく、他の人々の安全にも気配りができる

24

中学校

- 小学校での理解をさらに深め、応急処置の技能を身につけたり、防災への日常の備えや的確な避難行動ができる
- 学校、地域の防災や災害時のボランティア活動にも積極的に参加できる

高等学校

- 自らの安全の確保はもとより、友人や家族、地域社会の人々の安全にも貢献しようとする態度や応急処置の技能等を身につけ、地域の防災活動や災害時のボランティア活動にも積極的に参加できる

特別支援学校

- 幼稚園、小学校、中学校、高等学校に準ずるとともに、児童等の障害の状態、発達段階、特性及び地域の実態等に応じて各学校で重点を設定する。

25

(3) 防災教育推進のポイント

1. 地域の特性に応じた防災教育
2. 総合的な学習の時間の活用
3. 地域の災害文化の伝承
4. 防災の専門家による指導の導入
5. 体験的な学習の活用
6. 危険予測学習(KYT)の活用
7. 地域の防災活動と連携した活動
8. 情報ネットワークの積極的な活用
9. 家庭、地域における防災教育の啓発

26

1 地域の特性に応じた防災教育

地震



洪水



土砂災害

撮影：株式会社バスコ、国際航業株式会社

27

2 総合的な学習の時間の活用



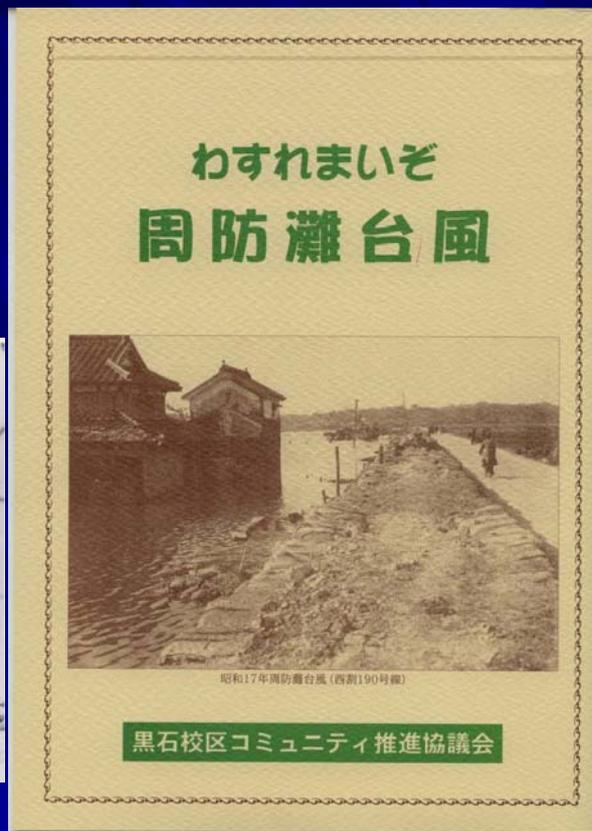
もし見島に津波が来たら・・・



28

3 地域の災害文化の伝承

過去の災害を忘れないために



5 体験的な学習の活用



砂防ダムの役割



スケッチ



浸水跡調べ



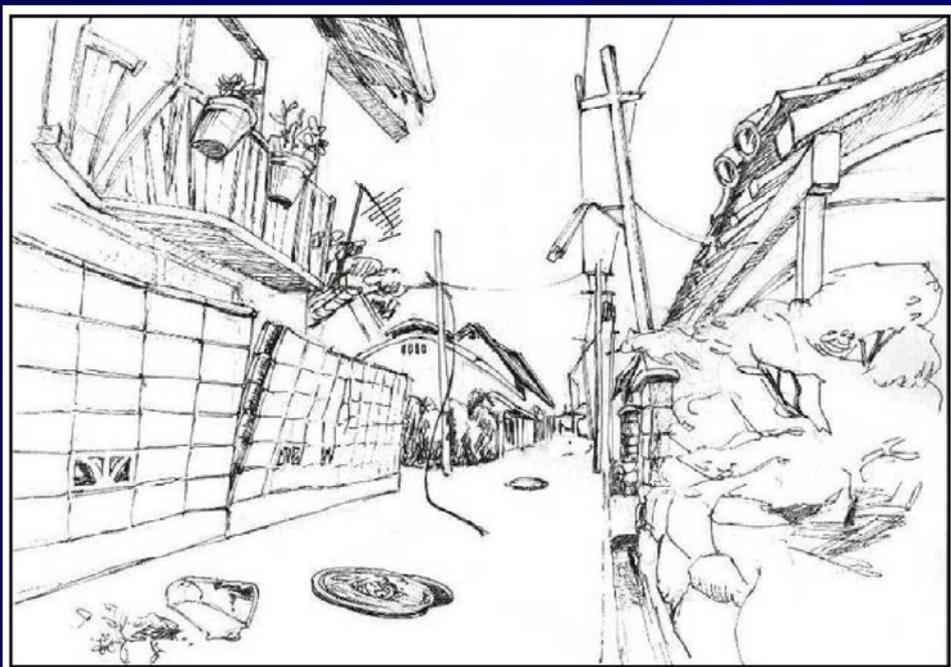
6 防災の専門家による指導の導入



31

6 危険予測学習(KYT)の活用

資料 10



どんな危険が予想されますか？

32

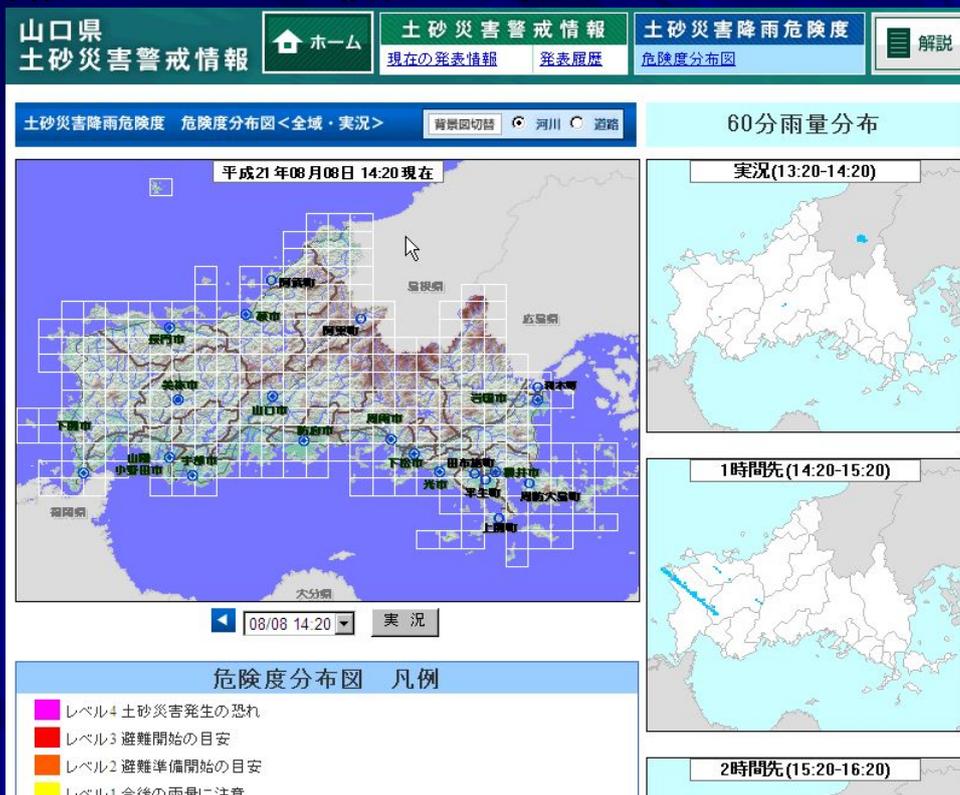
7 地域の防災活動と連携した活動



2008 県総合防災訓練 in 阿武

33

8 情報ネットワークの積極的な活用



山口県土木防災情報システム

34

9 家庭、地域における防災教育の啓発



保護者と一緒に避難訓練



ハザードマップで自分の家を探そう



保護者参観 ～ 家族で話し合い

35

子ども達の命を救う防災教育は

担い手である先生方一人ひとりの取組にかかっています。

この度の集中豪雨による土砂災害を教訓にして、学校における防災教育(防災管理も)に力を入れていきましょう。

山口県は地震が少ないからといって、無関心ではられません。私達は、近い内に、必ず大震災に遭遇します。今の子供たちは、他県で被災する可能性が私たちよりも高いのです。

その時に、一人でも多くの命を救うことができるように、

今日ご参加の先生方から、日々の様々な授業の中に、防災教育の視点を加えた取組を取り入れてみてください。

そして、周りの先生方へも少しずつ広めてください。

36